



新田祐大
この名を刻め



脇本雄太

脇本雄太と新田祐大が激突

久留米競輪場開設74周年記念「第29回中野カップレース」は、6月24日、27日の日程で開催される。今シリーズは3億円レース、脇本雄太と新田祐大の激突に注目が集まる。地元勢では昨年の覇者である北津留翼に連覇の期待がかかる。また、最終日第9レースにて「レインボーカップ」が一発勝負で争われる。こちらも注目だ。

2月奈良記念の2日目から急性腰痛症のために欠場した後は、取りこぼしも散見する脇本雄太。しかしながら、4月武雄記念では4連勝を達成。連日に渡り警戒網を敷かれてまくり回されたが、ワールドクラスのスピードにも

のを言わせて別線をねじ伏せた。ダービーの準決では、上がり10秒7の好タイムで逃げ切り、後続の古性優を寄せ付けなかったし、富山全プロ記念の初日優秀でも、上がり9秒フラの超速まくりで新山響平の逃げをあっさり飲み込んだ。持病である腰痛の影響で、万全の体調は望みにくいようだが、気持ち強く持つて臨めば主役は譲るまい。東口善朋が脇本をマークする。脇本が先行策なら食い下がっての2着は十分だが、警戒されてま

くり構えざるを得ない可能性が高いだけに、続くのは厳しいか。

新田祐大、新山のSS班に成田和也と北日本勢は戦力が整っている。グラインドスラムの称号を得た新田は、自慢の快速は相変わらずだし、位置取りにも意欲を見せている。成績は安定していて、全日本選抜、ウィナーズカップはいずれも決勝進出。G3では1月立川記念、4月高知記念で優勝をゲットしているし、5月函館記念準Vの動きもまずまずだった。新山が先手を奪えば、展開有利に抜け出す場面も。その新山も調子は上向き。今年の滑り出しは今ひとつだったが、ウィナーズカップで優勝を果たすと、その後は4月四日市G3は④①④着、同月武雄記念④①②着と好成績。ダービー②②⑥着の走りも力強かった。ペテランの成田は相変わらず高いレベルで成績をまとめている。北日本ラインがレースを掌握なら連に浮上してきそう。

地元勢のエースは北津留翼だ。昨年は6Vを含む48勝をあげていて、快速を活かした自力攻撃の破壊

力には素晴らしいものがある。1月小倉で先頭員を喫したが、復帰戦の6月別府は3連勝。長欠の不安を一掃しただけに、73周年に続き大会連覇の期待は膨らむ。昨年の決勝でも連係した伊藤颯馬、伊藤旭らとの連係から勝機を見い出す。

吉田拓矢、宿口陽一、長島大介と動ける選手がそろった関東勢も侮れない。4月武雄記念の準決で落車した吉田だが、ダービー③④①着。優勝は成らなかつたものの、ゴールデンリーサー賞に乗っていて、調子にはまったく問題なかった。昨年はG3で3Vを達成した実績があるので、位置取りにもこだわる自力攻撃が奏功なら好勝負に持ち込める。

南関東も軽視できない。北井佑季、小原太樹の神奈川コンビ、岩本俊介、鈴木裕の千葉コンビとライ

第29回 中野カップレース 出場予定選手

級班	氏名	登録地	期別	競走得点	級班	氏名	登録地	期別	競走得点
SS	新田祐大	福島	90期	116.65	S2	岩本和也	石川	76期	97.96
SS	脇本雄太	福井	94期	118.11	S2	高木和仁	福岡	76期	95.28
SS	新山響平	青森	107期	115.58	S2	松尾淳	岐阜	77期	95.36
S1	堤洋	徳島	75期	104.35	S2	開坂秀明	青森	79期	98.66
S1	小倉竜二	徳島	77期	112.78	S2	青井賢治	徳島	81期	98.29
S1	野田源一	福岡	81期	107.85	S2	宮越孝治	富山	82期	100.04
S1	東口善朋	和歌山	85期	113.00	S2	台和紀	埼玉	83期	95.48
S1	坂本健太郎	福岡	86期	108.70	S2	山信田学	埼玉	83期	93.45
S1	中村圭志	熊本	86期	105.55	S2	佐竹和也	徳島	83期	96.50
S1	成田和也	福島	88期	114.78	S2	吉本哲郎	広島	84期	93.71
S1	橋本誠	愛媛	89期	110.75	S2	真崎新太郎	栃木	85期	98.32
S1	田中誠	福岡	89期	104.84	S2	藤田剣次	福岡	85期	94.33
S1	池田憲昭	香川	90期	104.95	S2	伊藤大志	青森	86期	99.60
S1	北津留翼	福岡	90期	110.33	S2	青森伸也	福島	87期	105.61
S1	永澤剛	青森	91期	107.53	S2	五十嵐力	神奈川	87期	95.31
S1	山下渡	茨城	91期	105.96	S2	近藤俊明	神奈川	87期	101.91
S1	宿口陽一	埼玉	91期	109.71	S2	岡崎景介	広島	87期	98.82
S1	伊原克彦	福井	91期	98.29	S2	柳谷崇	岡山	87期	95.41
S1	池田良	広島	91期	108.48	S2	大屋健司	広島	87期	102.00
S1	鈴木裕	千葉	92期	110.59	S2	三宅裕武	三重	88期	98.48
S1	岩本俊介	千葉	94期	109.70	S2	松村友和	大阪	88期	97.63
S1	小原太樹	神奈川	95期	111.50	S2	高橋雅之	千葉	90期	100.87
S1	長島大介	栃木	96期	111.16	S2	廣川泰昭	愛媛	90期	94.41
S1	西村光太	三重	96期	104.33	S2	小堺浩二	石川	91期	103.36
S1	松岡篤哉	岐阜	97期	103.46	S2	網谷竜次	香川	91期	100.30
S1	中井太祐	奈良	97期	105.24	S2	松岡孔明	熊本	91期	97.96
S1	阿部力也	宮城	100期	104.81	S2	丸山直樹	埼玉	93期	96.00
S1	吉田拓矢	茨城	107期	113.82	S2	栗田貴徳	愛媛	93期	97.16
S1	隅田洋介	岡山	107期	105.33	S2	阿部兼士	福岡	93期	97.16
S1	中西大	和歌山	107期	105.55	S2	坂本貴史	青森	94期	106.35
S1	取島雄吾	岡山	107期	108.38	S2	岡光良	埼玉	94期	101.22
S1	酒井雄多	福岡	109期	102.40	S2	前田義和	鹿児島	94期	93.27
S1	島川将貴	徳島	109期	106.97	S2	山中秀将	千葉	95期	100.87
S1	黒沢征治	埼玉	113期	105.09	S2	河端朋之	岡山	95期	105.97
S1	伊藤颯馬	沖縄	115期	109.16	S2	棚橋勉	岡山	96期	98.67
S1	松岡辰泰	熊本	117期	108.00	S2	佐伯翔	福岡	97期	97.70
S2	紫原政文	福岡	61期	98.27	S2	二條祐也	徳島	97期	93.97
S2	成清貴之	千葉	73期	99.26	S2	横関裕樹	岐阜	99期	103.81
S2	渡邊晴智	静岡	73期	101.60	S2	伊東翔貴	福岡	100期	99.04
S2	松田治之	大阪	73期	97.68	S2	三登善哲	広島	100期	94.24

主カメンバー

北津留翼	小倉竜二	東口善朋	長島大介	吉田拓矢	成田和也	脇本雄太	新田祐大	新山響平
90期	47期	43期	96期	107期	88期	94期	97期	107期
110.33	112.78	113.00	111.16	113.82	114.78	118.11	115.58	115.58
113.27	113.18	109.70	107.40	115.00	115.34	119.57	116.43	113.64
110.70	112.45	112.82	110.40	113.17	115.10	118.64	116.76	114.10
①①①①①①	①①①①①①	①①①①①①	①①①①①①	①①①①①①	①①①①①①	①①①①①①	①①①①①①	①①①①①①
110.40	113.16	113.21	111.23	113.24	114.24	118.25	116.24	114.20
100.40	105.16	105.21	103.23	105.24	106.24	110.25	108.24	106.20
119.12	119.73	119.28	117.23	119.24	120.24	124.25	122.24	120.20
663万	1749万	1744万	1620万	2164万	2125万	3565万	3863万	3471万
10秒9	10秒9	10秒9	10秒8	10秒7	10秒7	10秒4	10秒6	10秒7
捲逃	追込	追捲	捲逃	自在	追込	捲逃	捲逃	捲逃

直近12場所成績

後藤 大輝 (福岡/121期)

S級上位級の異次元のスピードでデビュー当初から話題を集めた期待の大ホープ。A級卒業に意外と時間が掛かったが、その間に先行力を磨き、レース運びも覚えた。地元記念に間に合っただけで連日注目だ。



島川 将貴 (徳島/109期)

今期はまだG3開催では決勝に乗れないものの、F1戦ながら5Vを達成している機動力は伊達ではない。5月松戸では深谷知を撃破して、仕掛けがツボにはまったときの一発には警戒したい。



横関 裕樹 (岐阜/99期)

こここのところ自力攻撃が冴え渡っている。6月弥彦では快速まくりを連発して決勝に乗るなど、直近4カ月の連対率は5割超。スピードに磨きがかかった感があるので、連日目が離せない。

レインボーカップチャレンジファイナル

難しい優勝争いの行方

出場予定選手詳細

※2023年6月13日現在

選手名	出身	期	身長	体重	登録	直近4ヶ月前期得点	直近12場所成績	総合評価
富武大	山口	121	180cm	87	79.00	78.90	54 [5]	18 [10] 30 [20] 17 [11]
岸田剛	岡山	121	174cm	83	78.90	77.71	55 [3]	14 [10] 30 [20] 17 [11]
近谷涼	富山	121	184cm	85	78.85	77.29	53 [6]	18 [10] 30 [20] 17 [11]
高本和也	徳島	121	177cm	82	78.70	77.82	55 [2]	14 [10] 30 [20] 17 [11]
長谷川飛向	東京	121	166cm	67	78.62	76.64	55 [4]	14 [10] 30 [20] 17 [11]
比佐宝太	福島	121	176cm	80	76.91	76.57	53 [6]	14 [10] 30 [20] 17 [11]
照井力斗	岩手	121	172cm	74	78.66	74.82	55 [5]	14 [10] 30 [20] 17 [11]
堀航輝	青森	121	180cm	79	78.70	77.97	55 [2]	14 [10] 30 [20] 17 [11]

実力互角のメンバー構成で、2班昇格に勝負の選手はいない。121期の選手にとつて未経験の9車立てだし狙いは絞りにくい。北の3人と中国の2人は連係してラインの競走で、他の4人は個のレースか。中国勢の連係を重視して富武大を本命に推した。踏み出してからの加速が抜群なタイプで、ここまでV7、準V6回、決勝3着5回と安定感はある。番手戦も器用にこなし、直前の6月青森の優勝も松下綾を盛り立てて手にしたものであった。5月には特班に挑むなど進境著しい屋田達哉の積極策に乗れる番組は願ったり叶ったり。チャンスをモノにしよう。

単騎勢ではまず岸田剛。121期のゴールデンキヤップで、師匠の脇本雄太の下で順調に力を伸ばしている。次元の違うダッシュで繰り出すカマシ、まくりの威力は満点で、ここまで11V。6月函館では高本和也の特班を阻



富武大



岸田剛

止する優勝と勢いもある。高本、長谷川飛向はともに直近の場所でも回戦う同期に特班を阻まれたものの、上り調子の勢いは凄い。高本は通算7V、長谷川は今年だけで6Vをマークしている。単騎戦でも持ち味を発揮できれば。

近谷涼は元中距離ナショナルチームの超エリート。競輪の競走にも馴染んで、先行力を遺憾なく発揮している。ただ、ラインで決める競走が売りなのでそこがどう出るか。

照井力斗が16日からの静岡で特班する可能性もあるが、繰り上がりの比佐宝太も含めて北の3人で結束なら本線視も可能。司令塔役が期待される堀は大学時代に自転車競技で活躍し、養成所では先行回数一番と前評判が高かった選手。落ち着いてレースができるようになって今は怖いものなしだ。長い距離を踏んで勝負できるようにランクアップの照井がレースを支配し、ラインで上位独占も。